

C-73 久能山東照宮の衣服の遺品について、 (第3報)

—— 徳川家伝来の武家衣類の一・二について ——

福島大教育 栗原澄子.

目的、 近世の武家の男子の服装には、どのようなものがあつたか、どのようなものであつたか、を(ら)べるため。

方法、 久能山東照宮に收藏されている、武家衣服(胴召と伝称されているものと、具足下御胴服と伝称されているもの。)の実態調査による。

結果、 この衣服類は、胴服と伝称されているものが多いが、服装史上にみえる胴服とは全く異つた形態のものである。綿入れ・衾・単の別があり、縫い方はさまざまであるが、大きく二種類に分けられる。